尻別川の減災に関する取組方針　フォローアップ

資料5

平成29年6月27日時点

No.	大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 H32	H28取組内容	H29以降取組内容	取組に向けた課題
1	ハード対策	■洪水を河川内で安全に流す対策	河道掘削（豊国地区）	小樽開発建設部	～平成32年度		○河道掘削（豊国地区）を実施（小樽開発建設部）	○河道掘削（豊国地区）を継続実施（小樽開発建設部）	○工事実施に必要な予算確保（小樽開発建設部）
2		■危機管理型ハード対策	堤防法尻の補強（豊国、大谷、名駒、三和地区）	小樽開発建設部	～平成32年度		○堤防法尻補強工事（豊国、大谷地区）を実施（小樽開発建設部）	○堤防法尻補強工事（大谷、名駒地区）を継続実施（小樽開発建設部）	○工事実施に必要な予算確保（小樽開発建設部）
3		■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	小樽開発建設部	平成29年度		○スマートフォン版「川の防災情報」の供用を開始（小樽開発建設部）	○情報提供システム活用の住民への周知（小樽開発建設部）	○情報配信する内容や操作方法、避難行動への活用など継続的な周知が必要（小樽開発建設部、蘭越町）
4			洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	小樽開発建設部	平成29年度		○配信の可否、住民への周知方法等を調整（小樽開発建設部、蘭越町）	○平成29年5月1日から配信開始、地域住民への周知（4/1広報誌で周知済み）（小樽開発建設部）	○情報配信する内容や配信時の避難行動への活用など継続的な周知が必要（小樽開発建設部、蘭越町）
5			特に高齢者等の災害時要配慮者に配慮し、新たな防災通信システムの整備による確実な情報伝達方法の確立	蘭越町	平成28年度		○行政通信システムとして屋外スピーカー、各戸端末の設置完了（蘭越町）	－	－
6			排水計画に基づく樋門釜場の整備	小樽開発建設部	～平成32年度		○釜場整備の優先順位について検討（小樽開発建設部）	○排水計画の検討とあわせ整備箇所を検討（小樽開発建設部）	○工事実施に必要な予算確保（小樽開発建設部）
7	大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所、避難経路及び避難方法の見直し検討を行い、ハザードマップへ反映	蘭越町	～平成30 年度		－	○避難場所、避難経路及び避難方法を見直し、ハザードを作成（蘭越町）	
8			道路管理者との連携による、避難経路及び、避難行動の遅れに備えた沿道施設の活用の検討	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町	～平成30 年度		－	○取組機関において、活用を検討	
9			道路管理者等による、浸水に伴う交通途絶情報を共有する連絡体制の確立	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、JR北海道（株）	平成29年度から実施		－	○取組機関において、連絡体制の確認、減災対策委員会での周知	
10			地域毎の利用可能避難施設までの避難時間を踏まえた、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町	平成28年度から実施		○タイムライン作成済み ○平成29年2月21日に実施した訓練結果を基にタイムラインの精度向上を図った	○継続実施	
11			タイムラインを活用した、関係機関との連携による訓練の実施	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察	平成29年度から実施		○平成29年2月21日関係機関と連携した訓練を実施	○継続実施	
12			各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し	蘭越町	～平成32 年度		－	○マニュアル作成、地域防災計画への反映（蘭越町）	
13			水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等の実施	蘭越町	～平成32 年度		－	○避難場所の検討、避難訓練を実施（蘭越町）	
14			分かりやすい洪水予報伝文への改良	小樽開発建設部、札幌管区気象台	平成28年度		○洪水予報伝文の改良を実施（小樽開建、札幌管区気象台）	－	－
15			警報・注意報発表時の「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象になる可能性」の情報提供	札幌管区気象台	～平成29 年度		○平成28年6月8日から防災情報提供システムで試行開始（札幌管区気象台）	○平成29年5月17日から運用開始し、気象庁ホームページで公開（札幌管区気象台）	
16		■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定し得る最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	小樽開発建設部	平成28 年度		○尻別川における想定最大規模の浸水想定区域図等を公表（小樽開発建設部）	－	－
17			想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	小樽開発建設部、蘭越町	～平成30 年度		－	○避難場所、避難経路及び避難方法を見直し、ハザードを作成（蘭越町）	
18			想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、まるごとまちごとハザードマップの作成と周知	小樽開発建設部、蘭越町	～平成31 年度		－	○H30～31まるごとまちごとハザードマップ整備（蘭越町）	
19			児童・生徒を中心に尻別川の洪水特性を踏まえた防災教育の実施	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町	引き続き定期的に実施		○蘭越小学校、蘭越高校にて防災学習教育を実施（小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町）	○継続実施	
20			関係機関の職員及び住民を対象とした、防災支援機関と連携した水防災に関する防災講演会や講習会の開催	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町	引き続き定期的に実施		○住民を対象とした防災講演会を2回開催（小樽開発建設部、蘭越町）	○継続実施	
21			消防組合・蘭越建設協会と連携した「水防工法実技訓練」の開催	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察	引き続き定期的に実施		○平成28年6月17日 当日の天候不良により中止	○継続実施 平成29年6月16日実施	
22			ホームページや広報誌等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町	引き続き定期的に実施		○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表（小樽開発建設部）	○継続実施	○世代を問わないわかりやすい広報、イベント等地域住民が集まる場所を活用し、より効果的な広報の充実が必要
23	洪水氾濫被害軽減のための的確・迅速な水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察、JR北海道（株）、	引き続き定期的に実施		○重要水防箇所の見直しを実施（小樽開発建設部） ○平成28年6月17日水防連絡協議会にて重要水防箇所の共有	○継続実施 平成29年6月16日実施	
24			関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した伝達訓練、水防訓練を継続実施	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察	引き続き定期的に実施		○平成28年5月20日、尻別川の洪水を対象とした情報伝達訓練を実施。（小樽開発建設部、後志総合振興局、気象台、蘭越町）	○継続実施 平成29年5月12日実施	
25			迅速な水防活動を支援するため、上流部における一時的な保管方法を検討のうえ、水防資機材を充実	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町	平成28年度から実施		○水防資材（袋型根固め、大型土のう、シート、水のう）を購入備蓄（小樽開発建設部） ○水防機材として排水ポンプを購入（後志総合振興局）	○継続実施	○水防資機材購入に必要な予算確保
26			的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員の確保を図る	蘭越町	平成28年度から実施		－	－	○現時点では、必要な水防団員を確保している。
27			自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察	平成28 年度		○平成29年2月21日に実施した訓練において、支援内容、派遣要請方法を確認	○減災対策委員会にて周知	
28	社会経済活動の早期復旧のための取り組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	想定し得る最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町	～平成30 年度		－	○排水計画を検討（小樽開発建設部）	
29			防災支援機関等と連携した排水訓練を実施するとともに、訓練を通じて排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町	引き続き定期的に実施		○排水訓練を3回実施 ○平成29年2月21日に実施した訓練において、支援内容、出動要請方法を確認	○排水訓練　継続実施 ○出動要請　減災対策委員会にて周知	
30			蘭越建設協会との協定による、水防資機材の保有状況や作業計画の確認	蘭越町	平成28年度から実施		○蘭越建設協会と災害協定締結済み（蘭越町）	○資機材の保有状況、作業計画を確認（蘭越町）	
31			想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を検討	小樽開発建設部、蘭越町	平成28年度から検討実施		－	○対象となる施設を検討（小樽開発建設部）	
32			避難遅れによる孤立者等を想定した救助活動に関わるヘリポートや避難場所等の事前調整を行い、地域防災計画へ反映	小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察	平成28年度から実施		－	○取組機関において、活用検討	